

福祉・介護職員等処遇改善加算の職場環境要件と取組内容

区分	職場環境要件項目	取組内容
入職促進に向けた取組	法人や事業所の経営理念や支援方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	年1回、法定研修時に業務資質向上のための継続研修として実施している。
	事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築	併設する訪問看護ステーションや相談支援センターと共同による採用・人事ローテーション・研修を実施している。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら国家資格等の取得を目指す者に対する研修受講支援や、より専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対する各国家資格の生涯研修制度、サービス管理責任者研修、喀痰吸引研修、強度行動障害支援者養成研修等の業務関連専門技術研修の受講支援等	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修、相談支援従事者研修における研修費の全額支給を実施している。
	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	毎年6月に面談を行い、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保している。
両立支援・多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指すための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	育児・介護休業規程を整備し、育児・介護休業制度を導入している。
	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	職員の個々の事情に応じた働きやすい環境を整備している。非正規職員から正規職員への転換の制度も整備している。
腰痛を含む心身の健康管理	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業者のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	短時間勤務労働者も受診可能な健康診断を実施している。
	福祉・介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援やリフト等の活用、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施	浴槽の出入りをサポートするリフトや利用者の事業所内での移動をサポートするリフトを導入している。
生産性向上のための業務改善の取組	現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している	生産性向上委員会を設置し、現場の課題の見える化を実施している。
	業務支援ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの。）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入	書類作成業務の負担軽減のため、HUG システムを導入している。
	介護ロボット（見守り支援、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、介護業務支援等）又はインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器（ビジネスチャットツール含む）の導入	職員間の連絡調整を迅速化するため MCS（MedicalCareStation）を導入している。
やりがい・働きがいの構成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善	必要に応じてフロアミーティングを実施し、利用者のケアの方針や業務環境について話し合っている。併設する訪問看護ステーションや相談支援センターと定期的にミーティングを実施し、情報共有を図っている。
	地域社会への参加・包容（インクルージョン）の推進のための、モチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	定期的に地域イベントを開催している。